

# 学力向上に効果のある取組事例

中津市立和田小学校

## ②思考力、判断力、表現力等の育成

### 取組の具体①

#### 【研究テーマからの日常化 4点セットでの検証】

児童が主体的に考え、話し合いが活性化する授業づくり  
～聴いて考えて発言をつなごうとする力の育成～

- ①単元計画を立て、見通しを持たせる。
- ②考えをつないだり深めたりする場の設定
  - ・単元計画・見通しを持ってゴールを定める
  - ・ゲーチョコキパー・考えの立場を確認
  - ・にじいろ言葉・言語事項を教室掲示し、意識化
- ③キーワードの活用
  - ・本時に関わるキーワードを黒板に掲示し、交流やまとめにも使う

④ぶらぶらタイム

⑤ヒントコーナー

#### 【和田スタイルの共通理解】

- ①自分の考えを持つ(キーワード)
- ②見通しを持つ
- ③ペア・グループでの交流(ワークシート、ロイロ色分け)
- ④全体交流
- ⑤まとめ



### 取組の具体②

#### 【下支えとしての基礎基本の定着

～和田システムで学習の定着を目指す～】

#### ○スキルタイム(朝の時間)

- ・その日の学習内容を宿題に出し、次の日スキルタイムで答え合わせとやり直しをする。
- ・単元に入る前にレディネステストを行い、学び直しをする。

#### ○マイスタータイム(単元の終わりに授業時間1時間確保し、定着度をチェックする)

- ・バッチリコース・基礎基本の学習の振り返りをする問題。
- ・チャレンジコース・発展的な応用問題に取り組む。
- ・終わった子どもは、eライブラリの問題に取り組む。

※担任・管理職で、個別に指導する。

#### ○宿題の分からないところや、授業中に分からなかったところなどを担任と管理職が連携して、指導に当たり習熟を図る。

- 放課後の時間、長机を置いた職員室前の廊下や校長室で、C層の子どもを中心に個別の学習指導を行う。担任と前学年までに定着していない事項を確認し、基礎基本の定着を図る。

